

# わる気と感動

学校だより 10号

平成29年

6月28日(水)

## 峡南地区総合体育大会 陸上競技の部 最高成績を収める！

### 南部中旋風 全競技で 優勝旗7本 優勝盾4枚の快挙

☆共通男子・共通女子・2年男子・1年女子 総合優勝 ☆共通男子リレー・女子リレー 優勝  
 ☆15種目で一位獲得(昨年11) ☆リレー2種目と個人22人県大会出場 ☆5種目で大会新記録

陸上競技に総合優勝があれば、今年は間違いなく南部中のダントツ優勝といえるほど、圧倒的な成績を収めました。共通女子は3年ぶりの総合優勝で、合計100点越えは過去10年間で最高得点でした。共通男子は、なんと0.5点という僅差での逆転勝利でした。しかも最終種目、共通男子リレーで大会新記録での逆転という劇的な勝利で、増穂中の8連覇を阻止しました。共通男子・女子リレーのアベック優勝は6年ぶり、共通男女総合アベック優勝は5年ぶりの快挙で、今まで陸上部のある増穂中学校しか成し得ていないことです。その二つを同時に達成したのですから、どれほどすごいことかわかりただけだと思います。

開会式の前、円陣を組んでの全力校歌は、他校の生徒を圧倒し、思わず拍手をするほど気合いが入ったものでした。これで『チーム南部中』の一体感をさらに高め、全ての選手が全力で競技に臨めたと思います。選手の頑張りはもちろんですが、6名の補助員や2名のマネージャーの支えと、競技が終わった選手たちの応援(特にリレーの前にはまた全力校歌で盛り上げた。)が、0.16秒差の逆転優勝とこの快挙を生んだのです。また入賞を逃しても多くの選手が自己ベストを更新しました。たとえ転んでも最後まで諦めず走りきりました。

大会運営委員長として、2本の優勝旗と4枚の盾や賞状を南部中の生徒に手渡せたこと、参加した南部中の生徒全員の全力で本気で取り組む姿を見られたことがとても嬉しく、最高の思いができたことと感謝しています。

『なぜ南部中は、こんなに素晴らしい成果を挙げたのか。』と他校の先生に聞かれました。考えてみると、2・3年生は男女とも昨年度より順位を上げたり、得点を大きく伸ばしています。たとえば3年男子は昨年度は総合四位でした。3年女子は二位に40点という大差をつけました。この伸びを支えているのは、全校による気合いの入った、『全力応援』や、『全力校歌』であったり、毎日の部活動の取り組みであったり、普段の体育の授業に取り組む南部中生徒の姿勢ではないかと思います。鯉沢中(藤澤先生)、甲西中(雨宮先生)も全力校歌に取り組み始めたそうです。

この『伸びる南部中』の力は、運動面だけではなく、文化部の活動、合唱活動、そして、学力向上に必ずつながっていくと信じています。

〈三位以内入賞者・県大会出場者〉 \* 共通男女リレーも一位(男子は㊦)で県大会出場です。

1年生	走り幅跳び	岩崎祥子(一位)、若林航希(三位)		
	砲丸投げ	望月満風(一位)、原田倅成(三位)	1500m	諏訪颯斗(二位)
2年生	100m	遠藤雅也(一位)、植田颯斗(三位)	800m	簀持太貴(三位)
	100mH	遠藤沙登(一位)	走高跳	遠藤沙登(一位)
	走幅跳	植田颯斗(一位)、遠藤雅也(二位)	砲丸投	望月亮雅(二位)
3年生	100m	珊瑚菜帆(一位㊦)、千頭和那奈(二位)、下野けんぞう(三位)		
	200m	珊瑚菜帆(一位㊦)、千頭和那奈(二位)、青島佳大郎(三位)		
	400m	望月 颯(一位)	800m	佐野鈴香(一位)、望月大誠(二位)
	1500m	岡田 智(二位)、佐野鈴香(三位)、望月大誠(三位)		
	100mH	山田一稀(一位㊦)	100mH	下野ゆかり(二位)
	走高跳	山田一稀(一位㊦)、若林 涼(三位)	走幅跳	市川佳依(三位)
	砲丸投	下野ゆかり(一位)、下野けんぞう(三位)		

## ＜県総合体育大会 日程＞ 目指せ！関東・全国

- 7月25日（火） 男女バレーボール 男子ソフトテニス ～26日（水）
- 26日（水） 野球（28日・30日） 女子バスケットボール（29日）
- 29日（土） 陸上競技～30日（日）
- 30日（日） 空手

県総体は平日開催が多いのですが、3年生にとって最後の県大会ですので、できるだけご都合をつけて応援をよろしくお願いします。

## ＝ 6月23日 沖縄「慰霊の日」 ＝ \*三年連続の掲載です。

陸上競技大会の6月23日は、沖縄県民にとっては忘れられない特別な一日「慰霊の日」でした。72年前の沖縄戦は、一般住民を巻き込んだ唯一の地上戦が展開された戦いでした。一般住民を巻き込み、20万あまりの尊い命と財産や、沖縄の文化財、自然がことごとく奪われました。一般住民は9万4000人あまりが犠牲となりました。女子学生で編成された『ひめゆり学徒隊』（看護補助要員）は、220名中136名が亡くなるという悲惨な状況でした。追い詰められた住民の集団自決、日本軍による住民虐殺など凄惨な戦いだったそうです。そして総司令官が自決したこの日23日を、組織的戦闘が終結した節目とし沖縄慰霊の日と制定したのです。

その後、長崎・広島に原爆が投下され、大勢の犠牲者を出し日本は降伏しました。それから1972年に日本に返還されるまでの28年間、沖縄は米軍の主要な基地・アメリカの占領地として支配されてきたのです。

戦後72年が経過した今、米軍基地の辺野古への移設問題など、今でも沖縄県に大きな負担をかけている事を、私たちは忘れてはいけないと思います。



